

編集後記

年報『真宗文化』第二六号をお届けします。

本号には、昨年の一月に開催しました第四八回光華講座から、第五十回光華講座までの三回分の講演録を掲載させていただきました。

阪本（後藤）純子先生には「『真実』を『信』に献供する―古代インド祭祀から念仏へ―」というご講題のもと、称名念仏の思想的背景を古代インドの祭祀文化から読み解いていただきました。称名念仏だけでなく、仏教の源流をたどる貴重な内容となっております。また、臨床僧侶として緩和ケア病棟など医療現場で活躍しておられる長倉伯博先生からは、ご自身の二十七年に渡るベッドサイドでの経験を「臨床僧侶の経験から」と題してお話いただきました。この講座は、本学看護学科に在籍する学生からの働きかけをきっかけに開催されたものでした。最後に、第五十回光華講座は、浄

土真宗本願寺派勸学寮頭であられる徳永一道先生においでいただきました。京都女子大学の仏教学の教員として、そして浄土真宗聖典の英訳のお仕事を通して取り組んでこられた、専門用語に囚われるのではなく、他者に伝わる言葉で教えを伝える営みを、「浄土真宗の社会性」という言葉で表現され、「仏教が現代に寄与できること」というご講題のもとお話しをいただきました。先生方にはご多用中講演録にお目通しいただきましたこと、衷心より御礼申し上げます。

また、今年度の委嘱研究員亀山隆彦氏論文を掲載します。日本の真言密教が生み出した胎生学的教説と縁起説との関わり的一端を明らかにしています。若い研究者の力作をお届けします。

なお、これまで掲載してきました当研究所の加治洋一所員による『義足経』の翻訳研究は、未発表分も含めて、平成二十九年度内の出版を予定しております。ご期待ください。

聖典読書会、聖跡巡拝も、参加いた

いたみなさまのご協力のもと、盛況に開催することができました。みなさまに御礼申し上げます。
(CO)

真宗文化 第二十六号

平成二十九年三月一日 発行

京都光華女子大学

発行 真宗文化研究所

所長 一郷 正道

京都市右京区西京極葛野町三八
電話 〇七五(三)五三三(三)

E-mail skk@mail.kokac.jp
URL http://www.kokac.jp

印刷 協和印刷株式会社